

上場会社名 日本ハム株式会社
コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畑 佳秀
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 経理財務部長 (氏名) 長谷川 佳孝

TEL 06-7525-3042

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け説明会)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		事業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	952,306	0.2	39,239	10.6	33,400	3.7	24,036	0.6	23,927	0.5	25,308	27.0
2019年3月期第3四半期	953,761	2.1	35,494	23.0	34,684	34.3	23,896	34.6	24,046	33.6	19,931	51.0

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	232.52	232.43
2019年3月期第3四半期	223.73	221.99

(注)事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	813,164	425,379	416,379	51.2
2019年3月期	741,388	405,358	401,014	54.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				90.00	90.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				90.00	90.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		事業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,240,000	0.5	40,000	4.4	26,000	14.1	18,500	5.4	179.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

株式会社 ファイターズスポーツ
新規 1 社 (社名) &エンターテイメント、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は、[添付資料]13ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(7)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項2. 会計方針の変更」をご参照下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	102,958,904 株	2019年3月期	102,958,904 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	44,106 株	2019年3月期	46,288 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	102,913,791 株	2019年3月期3Q	107,475,594 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因によってこれら予想や計画とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 継続企業的前提に関する注記	12
(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
1. セグメント情報	12
2. 会計方針の変更	13
補足資料	補 1～補 6

※ 当社は、2020年1月31日（金）に機関投資家・アナリスト向け電話会議を開催する予定です。この会議で使用する資料については本日T D n e tで開示するほか、当社ホームページにも掲載いたします。

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催いたします。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

業績全般の状況

当第3四半期のおが国経済は、個人消費や企業収益に弱さが見られるものの、雇用情勢は引き続き改善し、景気は緩やかな回復が続きました。その一方で、世界経済の先行きや、政策に関する不確実性、通商問題の動向など、経済環境は依然として予断を許さない状況が続きました。

当業界におきましては、一部原材料価格の上昇や、人手不足を背景とした人件費、物流費の上昇、販売競争の激化、国内外における家畜の疾病など、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような中、当社グループは、2018年4月からスタートした「中期経営計画2020」において、「未来につなげる仕組み作り」をテーマとし、5つの経営方針「既存事業の効率化による収益力の強化」、「消費者との対話を通じた価値の創造」、「食の未来の構想/実現のための技術力強化・育成」、「海外市場展開のギアチェンジ」、「持続可能性(サステナビリティ)の追求」に基づく事業展開を推進してまいりました。具体的施策としては、国内ファーム事業の強化、前期に稼働を開始した食肉加工品製造工場やヨーグルト・乳酸菌飲料製造工場での増産、人財の育成やリスク管理の徹底などに取り組みました。海外においては、オーストラリアにおける牛肉事業の収益性改善に引き続き努めました。経営体制については、「ニッポンハムグループ・コーポレートガバナンス基本方針」に沿って、その充実に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比0.2%減の952,306百万円となりました。事業利益は対前年同期比10.6%増の39,239百万円、税引前四半期利益は第2四半期連結会計期間において、2018年10月31日開催の取締役会で決議された選択定年制度の拡充に基づく募集を実施したことに伴う特例加算金等8,472百万円を計上したことなどにより、対前年同期比3.7%減の33,400百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は対前年同期比0.5%減の23,927百万円となりました。

セグメントの概況

(加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門のコンシューマ商品では、主力の「シャウエッセン」において、積極的な拡販に加え、購買層の拡大を目的とした「シャウエッセンチェダー&カマンベール」の発売や、Webを活用したプロモーションを実施した事などで好調に推移し、売上げは前年を上回りました。歳暮商戦では、旗艦ブランドである「美ノ国」を中心に店頭販促を強化しましたが、歳暮市場全体の落込みなどの影響により、売上げは減少しました。業務用商品では、大手外食チャンネル向けの売上げが減少しましたが、コンシューマ商品の伸長もありハム・ソーセージ部門全体の売上げは増収となりました。

加工食品部門のコンシューマ商品では、主力のピザ群において、新たな価格帯の新商品を投入した事などにより堅調に推移した事に加え、店頭での積極的な販促活動を行ったハンバーグ群やチキンナゲットなどのプリフライ群が好調に推移し、売上げは前年を上回りました。業務用商品では、惣菜・中食チェーン向けの売上げが減少したことにより、加工食品部門全体の売上げは前年を下回り、加工事業本部の売上げは減収となりました。

利益につきましては、主力ブランド商品の伸長による単価上昇で粗利益率が改善したことに加え、間接経費の削減や、製造部門における機械化、省人化の取組みなどにより、増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の加工事業本部の売上高は対前年同期比0.3%減の272,186百万円、事業利益は対前年同期比34.2%増の10,559百万円となりました。

(食肉事業本部)

食肉事業においては、当社ブランド食肉である国産豚肉「麦小町」や国産鶏肉「桜姫」を中心に積極的な拡販を行ったほか、SNSを活用したキャンペーンやレシピ投稿など、消費者の皆様とのコミュニケーションの強化にも尽力しました。営業活動では、カナダ産やウルグアイ産の牛肉や、抗生物質不使用の豚肉、鶏肉など、幅広いチャンネルに対する提案に加え、年末商戦では、各地域のお取引先向けに開催する展示即売会にて、国産牛をはじめとする当社商品の提案を行いました。これらの活動の結果、国産・輸入鶏肉や食肉加工品を中心に販売数量を伸ばし、売上げは前年を上回りました。

利益につきましては、生産部門においては、飼育成績の向上や現場の効率化・省力化に努めましたが、国産鶏肉の相場が軟調に推移したことや、人件費の上昇などにより昨年を下回りました。販売部門において

は、ブランド食肉や付加価値商品の提案強化に加え、国内外での家畜の疾病や米中貿易交渉の影響による相場変動リスクを踏まえた、幅広い原産国からの安定した商品調達と提案に努めましたが、国産・輸入牛肉が仕入価格高で苦戦したこと、輸入豚肉や国産鶏肉の供給増加により国内の豚肉、鶏肉の販売価格が低迷したことなどにより、全体で減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の食肉事業本部の売上高は対前年同期比2.0%増の594,874百万円、事業利益は対前年同期比12.3%減の25,168百万円となりました。

(関連企業本部)

水産部門は、量販店を中心に、年末商戦で販売を強化した海老や蟹商材が伸長しましたが、相場が下落した鮪や魚卵の売上げが減少し、また、構造改革の一環で着手した不採算アイテムの整理による影響などもあり、売上げは前年を下回りました。

乳製品部門のうち、ヨーグルト・乳酸菌飲料は、主力の「バニラヨーグルト」が堅調に推移したほか、CVSチェーン向け新商品の投入により、ドリンクタイプのヨーグルトは伸長したものの、乳酸菌飲料の落ち込みをカバー出来ず、売上げは前年を下回りました。チーズは、CVSチェーンのデザート向けの販売が伸長したほか、量販店を中心にベビーチーズの拡販に努めたことや、スモークチーズの販売が伸長したことなどにより、売上げは前年を上回りました。

利益につきましては、水産部門では、主力の海老や蟹商材などの利益率の改善により粗利益が増加し、前年を上回りました。乳製品部門のうち、ヨーグルト・乳酸菌飲料は、粗利益率の改善に加え、高崎工場の本格稼働による生産性の改善により、前年を上回りました。チーズは、売上げの伸長による粗利益の増加により、前年を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の関連企業本部の売上高は対前年同期比7.9%減の112,135百万円、事業利益は対前年同期比27.0%増の1,356百万円となりました。

(海外事業本部)

売上高につきましては、アジア・欧州事業では、中国、台湾での加工食品の販売が伸長しましたが、シンガポールにおいて原料の輸出入が減少したことなどにより、前年を下回りました。米州事業では、米国内での加工食品の販売や、米国やチリにおける原料の輸出が堅調に推移し、前年を上回りました。豪州事業では、牛生体の集荷が堅調に推移したこと、また、中国向けの牛肉販売が好調に推移したことにより、前年を上回りました。

利益につきましては、アジア・欧州事業では、タイの鶏肉原料や、シンガポールの水産原料の取扱量の増加により収益が確保できたこと、台湾での加工食品の販売が順調であったことなどにより、前年を上回りました。米州事業では、米国内での加工食品の販売において販売管理費の抑制により利益を確保できたことや、米国およびチリでの日本向けの輸出原料価格が安定したことなどにより、前年を上回りました。豪州事業では、オーストラリアにおいては安定した販売価格を維持できたことに加え、生産・処理コストの改善が堅調であったことなどから、前年を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の海外事業本部の売上高は対前年同期比0.3%増の197,975百万円、事業利益は3,048百万円（前年同期は1,958百万円の事業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

《財政状態》

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ営業債権及びその他の債権が31,986百万円、有形固定資産が28,308百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比9.7%増の813,164百万円となりました。負債については、前期末に比べその他の流動負債が7,102百万円、その他の金融負債が4,844百万円それぞれ減少しましたが、有利子負債が49,187百万円増加したことなどにより、前期末比15.4%増の387,785百万円となりました。なお、有利子負債は196,196百万円となりました。有形固定資産及び有利子負債は、当期より適用したIFRS第16号「リース」（以下、「IFRS第16号」）による使用権資産の計上、リース負債の増加によりそれぞれ増加しております。

親会社の所有者に帰属する持分は前期末に比べ15,365百万円増加し、416,379百万円となりましたが、総資産が増加したことから親会社所有者帰属持分比率は2.9ポイント減の51.2%となりました。

《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業債権及びその他の債権の増加 32,441 百万円、法人所得税の支払額 8,782 百万円などがありましたが、税引前利益 33,400 百万円、減価償却費及び償却費 24,793 百万円、営業債務及びその他の債務の増加 14,554 百万円などにより、22,215 百万円の純キャッシュ増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産等の取得 27,667 百万円などにより、28,507 百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入債務の返済 32,067 百万円、現金配当 9,271 百万円などがありましたが、借入債務による調達 34,138 百万円、短期借入金の増加 15,382 百万円などにより、12,841 百万円の純キャッシュ増となりました。

これらの結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ 6,283 百万円増加し、54,391 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年10月31日の「2020年3月期第2四半期決算短信」にて公表した見通しから変更はありません。

将来に関する記述等についてのご注意

この決算短信に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、この決算短信に記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	48,108	54,391
営業債権及びその他の債権	153,260	185,246
棚卸資産	113,415	116,776
生物資産	25,971	25,199
その他の金融資産	12,041	13,512
その他の流動資産	5,468	6,719
流動資産合計	358,263	401,843
非流動資産		
有形固定資産	289,898	318,206
生物資産	1,877	1,914
無形資産及びのれん	7,097	7,856
持分法で会計処理されている投資	14,400	13,778
その他の金融資産	34,125	35,958
繰延税金資産	28,004	25,153
その他の非流動資産	7,724	8,456
非流動資産合計	383,125	411,321
資産合計	741,388	813,164
(負債及び資本の部)		
流動負債		
有利子負債	62,746	75,044
営業債務及びその他の債務	111,573	125,886
未払法人所得税	2,738	2,344
その他の金融負債	18,123	13,658
その他の流動負債	38,788	31,686
流動負債合計	233,968	248,618
非流動負債		
有利子負債	84,263	121,152
退職給付に係る負債	14,118	14,525
その他の金融負債	1,105	726
繰延税金負債	1,326	1,243
その他の非流動負債	1,250	1,521
非流動負債合計	102,062	139,167
負債合計	336,030	387,785
資本		
資本金	36,294	36,294
資本剰余金	72,672	72,659
利益剰余金	286,934	300,926
自己株式	△ 202	△ 193
その他の包括利益累計額	5,316	6,693
親会社の所有者に帰属する持分	401,014	416,379
非支配持分	4,344	9,000
資本合計	405,358	425,379
負債及び資本合計	741,388	813,164

(注) その他の包括利益累計額の内訳
 その他の包括利益を通じて
 公正価値で測定する金融資産
 在外営業活動体の換算差額

前連結会計年度

当第3四半期連結会計期間

6,980

8,607

△ 1,664

△ 1,914

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2018年4月1日 ～2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年12月31日)
売上高	953,761	952,306
売上原価	794,563	788,663
販売費及び一般管理費	125,337	122,860
その他の収益	6,362	3,434
その他の費用	4,043	10,444
金融収益	1,229	1,102
金融費用	3,194	2,298
持分法による投資利益	469	823
税引前四半期利益	34,684	33,400
法人所得税費用	10,788	9,364
四半期利益	23,896	24,036
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	24,046	23,927
非支配持分	△ 150	109
四半期利益	23,896	24,036
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	223.73円	232.52円
希薄化後1株当たり四半期利益	221.99円	232.43円

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2018年10月1日 ～2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月1日 ～2019年12月31日)
売上高	335,761	336,040
売上原価	280,082	277,035
販売費及び一般管理費	43,240	41,699
その他の収益	1,093	1,894
その他の費用	1,491	965
金融収益	357	374
金融費用	711	708
持分法による投資利益(△損失)	△ 176	536
税引前四半期利益	11,511	18,437
法人所得税費用	3,737	4,895
四半期利益	7,774	13,542
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,675	13,596
非支配持分	99	△ 54
四半期利益	7,774	13,542
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	71.43円	132.13円
希薄化後1株当たり四半期利益	71.41円	132.08円

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2018年4月1日 ～2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年12月31日)
四半期利益	23,896	24,036
その他の包括利益(△損失)		
純損益に振り替えられる ことのない項目 その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△ 4,105	1,629
合計	△ 4,105	1,629
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	173	△ 594
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	△ 33	237
合計	140	△ 357
その他の包括利益(△損失)合計	△ 3,965	1,272
四半期包括利益	19,931	25,308
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	20,486	25,306
非支配持分	△ 555	2
四半期包括利益	19,931	25,308

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2018年10月1日 ～2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月1日 ～2019年12月31日)
四半期利益	7,774	13,542
その他の包括利益(△損失)		
純損益に振り替えられる ことのない項目 その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△ 2,705	1,952
合計	△ 2,705	1,952
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 1,410	1,417
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	△ 181	304
合計	△ 1,591	1,721
その他の包括利益(△損失)合計	△ 4,296	3,673
四半期包括利益	3,478	17,215
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,315	17,241
非支配持分	163	△ 26
四半期包括利益	3,478	17,215

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付 制度の 再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	合計			
2018年4月1日残高	36,291	72,818	300,076	△ 16	—	11,311	△ 2,498	8,813	417,982	4,906	422,888
四半期利益			24,046					—	24,046	△ 150	23,896
その他の包括損失						△ 4,105	545	△ 3,560	△ 3,560	△ 405	△ 3,965
四半期包括利益	—	—	24,046	—	—	△ 4,105	545	△ 3,560	20,486	△ 555	19,931
配当			△ 11,394					—	△ 11,394	△ 9	△ 11,403
自己株式の取得				△ 1,622				—	△ 1,622	—	△ 1,622
自己株式の処分		0		0				—	0	—	0
ストックオプションの 行使に伴う新株の発行	3	△ 3						—	0	—	0
子会社の設立								—	—	406	406
その他の包括利益累計額 から利益剰余金への振替			240			△ 240		△ 240	—	—	—
所有者との 取引額等合計	3	△ 3	△ 11,154	△ 1,622	—	△ 240	—	△ 240	△ 13,016	397	△ 12,619
2018年12月31日残高	36,294	72,815	312,968	△ 1,638	—	6,966	△ 1,953	5,013	425,452	4,748	430,200

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付 制度の 再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	合計			
2019年4月1日残高	36,294	72,672	286,934	△ 202	—	6,980	△ 1,664	5,316	401,014	4,344	405,358
四半期利益			23,927					—	23,927	109	24,036
その他の包括利益						1,629	△ 250	1,379	1,379	△ 107	1,272
四半期包括利益	—	—	23,927	—	—	1,629	△ 250	1,379	25,306	2	25,308
配当			△ 9,262					—	△ 9,262	△ 9	△ 9,271
自己株式の取得				△ 4				—	△ 4	—	△ 4
自己株式の処分		△ 13		13				—	0	—	0
子会社の増資								—	—	557	557
子会社の設立								—	—	4,106	4,106
その他			△ 675					—	△ 675	—	△ 675
その他の包括利益累計額 から利益剰余金への振替			2			△ 2		△ 2	—	—	—
所有者との 取引額等合計	—	△ 13	△ 9,935	9	—	△ 2	—	△ 2	△ 9,941	4,654	△ 5,287
2019年12月31日残高	36,294	72,659	300,926	△ 193	—	8,607	△ 1,914	6,693	416,379	9,000	425,379

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2018年4月1日 ～2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	34,684	33,400
減価償却費及び償却費	16,807	24,793
減損損失	672	422
生物資産の公正価値変動額	248	△ 442
金融収益及び金融費用	1,965	1,196
営業債権及びその他の債権の増減	△ 36,544	△ 32,441
棚卸資産の増減	△ 11,257	△ 3,673
生物資産の増減	△ 429	342
その他の資産の増減	△ 46	379
営業債務及びその他の債務の増減	19,003	14,554
その他の負債の増減	△ 7,755	△ 8,264
その他—純額	1,478	△ 926
利息の受取額	567	552
配当金の受取額	1,571	2,278
利息の支払額	△ 807	△ 1,173
法人所得税の支払額	△ 15,905	△ 8,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,252	22,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産等の取得	△ 37,679	△ 27,667
固定資産等の売却	140	602
定期預金の増減	2,814	△ 1,167
その他の金融資産の取得	△ 1,061	△ 67
その他の金融資産の売却及び償還	519	41
関連会社に対する投資	△ 38	△ 120
その他—純額	△ 192	△ 129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 35,497	△ 28,507
財務活動によるキャッシュ・フロー		
現金配当	△ 11,403	△ 9,271
短期借入金増減	36,295	15,382
借入債務による調達	7,148	34,138
借入債務の返済	△ 11,849	△ 32,067
非支配持分からの出資	406	4,663
自己株式の取得	△ 1,622	△ 4
その他—純額	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,975	12,841
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	84	△ 266
現金及び現金同等物の増減額	△ 12,186	6,283
期首現金及び現金同等物残高	58,290	48,108
期末現金及び現金同等物残高	46,104	54,391

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

報告セグメントに関する情報

当社グループは、主として商品及び提供するサービスの性質に加えて販売又はサービスを提供する地域に応じて以下の4つの事業セグメントに区分し、経営管理を行っており、これを報告セグメントとしております。

- 加工事業本部 — 主に国内におけるハム・ソーセージ、加工食品の製造・販売
- 食肉事業本部 — 主に国内における食肉の生産・販売
- 関連企業本部 — 主に国内における水産物、乳製品の製造・販売
- 海外事業本部 — 主に海外子会社におけるハム・ソーセージ、加工食品、食肉及び水産物の生産・製造・販売

なお、当社グループは当社及び子会社 83 社、関連会社 10 社で構成されています。

(表示方法の変更)

前連結会計年度まで、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額を「セグメント利益」として表示しておりましたが、当連結会計年度より当該「セグメント利益」の算定方法を変更して表示しております。当連結会計年度からは、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともに IFRS への調整及び非経常項目を除外して算定した金額を新たに「セグメント利益」として表示しております。なお、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間の「セグメント利益」は、当第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結会計期間との比較可能性の観点から、変更後の算定方法に修正して表示しております。当該変更は、セグメント情報の重要な経営指標として、事業活動を通じて獲得する利益をより明確に示すことにより、当該変更が要約四半期連結財務諸表の利用者にとって目的適合性のより高い情報を提供すると判断したためであります。

前第3四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(単位：百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	関連企業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	262,019	498,620	119,097	99,536	979,272	△ 25,511	953,761
セグメント間の内部売上高	11,027	84,642	2,609	97,923	196,201	△ 196,201	-
計	273,046	583,262	121,706	197,459	1,175,473	△ 221,712	953,761
セグメント利益(△損失)	7,866	28,703	1,068	△ 1,958	35,679	△ 185	35,494

当第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(単位：百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	関連企業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	260,860	506,952	109,456	101,047	978,315	△ 26,009	952,306
セグメント間の内部売上高	11,326	87,922	2,679	96,928	198,855	△ 198,855	-
計	272,186	594,874	112,135	197,975	1,177,170	△ 224,864	952,306
セグメント利益	10,559	25,168	1,356	3,048	40,131	△ 892	39,239

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれております。
2. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。
3. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともに IFRS への調整及び非経常項目を除外して算出しております。

前第3四半期連結会計期間(2018年10月1日～2018年12月31日)

(単位:百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	関連企業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	94,712	175,700	44,957	32,487	347,856	△12,095	335,761
セグメント間の内部売上高	3,871	28,427	797	33,315	66,410	△66,410	-
計	98,583	204,127	45,754	65,802	414,266	△78,505	335,761
セグメント利益(△損失)	5,113	10,451	875	△1,103	15,336	△1,713	13,623

当第3四半期連結会計期間(2019年10月1日～2019年12月31日)

(単位:百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	関連企業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	95,289	176,845	41,641	35,067	348,842	△12,802	336,040
セグメント間の内部売上高	3,804	30,542	873	31,140	66,359	△66,359	-
計	99,093	207,387	42,514	66,207	415,201	△79,161	336,040
セグメント利益	5,993	10,478	1,122	1,146	18,739	△1,332	17,407

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれております。
 2. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。
 3. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

2. 会計方針の変更

当社グループは、第1四半期連結会計期間より以下の基準を適用しております。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	リース取引に関する会計処理の改訂

当社グループは、契約時に、特定された資産の使用を支配する権利が一定期間にわたって対価と交換に移転する場合には、当該契約はリースであるか又はリースを含んでいると判定しております。

ただし、当社グループはリース期間が12ヶ月以内の短期リース及び少額資産のリースについて、使用权資産及びリース負債を認識しないことを選択しております。

なお、当社グループはIFRS第16号の適用に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、IAS第17号「リース」(以下、「IAS第17号」)及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでおります。適用開始日以降は、IFRS第16号の規定に基づき判断しております。

また、当社グループはIFRS第16号の適用に際し、すべてのリースに関して、適用開始日に累積的影響を認識する方法を適用しております。

リース取引におけるリース負債は、リース開始日におけるリース料総額の未決済分の割引現在価値として測定を行っております。

適用開始日現在の要約四半期連結財政状態計算書に認識されているリース負債に適用している借手の追加借入利率の加重平均は、0.4%であります。

リース料総額の未決済分の割引現在価値を算定する場合に使用すべき割引率は、実務上可能な場合にはリースの計算利率とし、実務上不可能な場合には、借手の追加借入利率を用いております。

なお、リース料は利息法に基づき金融費用とリース負債の返済額に配分し、金融費用は要約四半期連結損益計算書にて、使用权資産に係る減価償却費と区分して認識しております。

使用权資産については、リース負債の当初測定額に当初直接コスト、前払リース料等を調整し、リース契約に基づき要求される原状回復義務等のコストを加えた額で当初の測定を行っており、リース期間にわたり定額法又は他の規則的な基礎のいずれかによって減価償却を行っております。

IAS 第 17 号を適用して開示したオペレーティング・リース契約と要約四半期連結財政状態計算書に認識した適用開始日現在のリース負債の調整表は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

2019年3月31日現在で開示したオペレーティング・リース契約の割引後の金額	8,846
2019年3月31日現在で認識したファイナンス・リース債務	11,264
解約可能オペレーティング・リース契約等	16,844
2019年4月1日現在のリース負債	36,954

これにより従前の会計基準を適用した場合と比較し、当期首時点で主に有形固定資産に含まれる要約四半期連結財政状態計算書での資産残高は 25,690 百万円増加しております。

なお、当社グループは IFRS 第 16 号の適用に際し、以下の実務上の便法を使用しております。

- ・特性が合理的に類似したリースのポートフォリオに単一の割引率を適用しております。
- ・減損レビューを実施することの代替として、リースが適用開始日直前において IAS 第 37 号「引当金、偶発負債及び偶発資産」を適用して不利であるかどうかの評価に依拠しております。
- ・当初直接コストを適用開始日現在の使用权資産の測定から除外しております。
- ・延長又は解約オプションが含まれている契約について、リース期間を算定する際などに、事後的判断を使用しております。

2020年3月期第3四半期

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

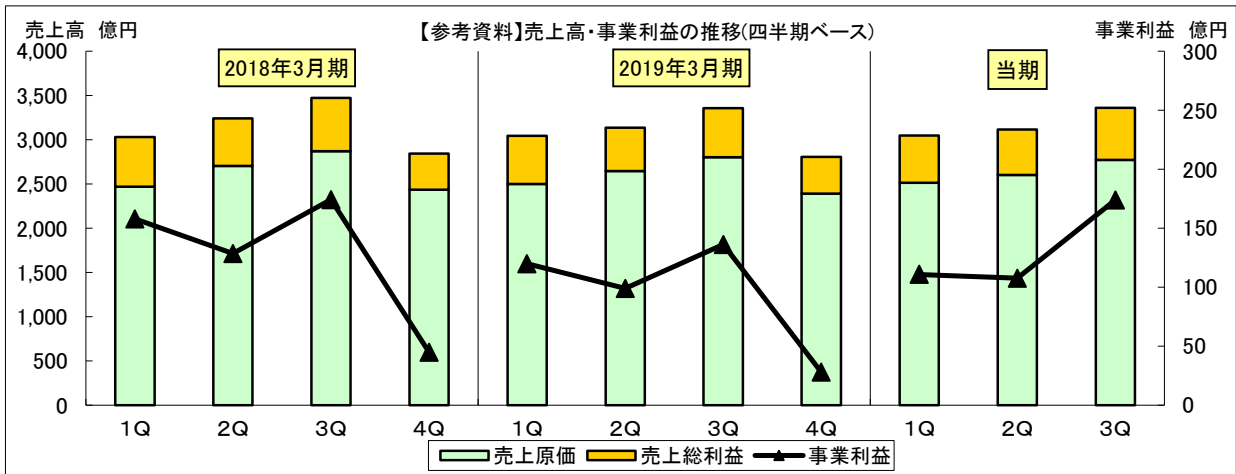
2020年1月

I ハイライト情報

《連結決算》

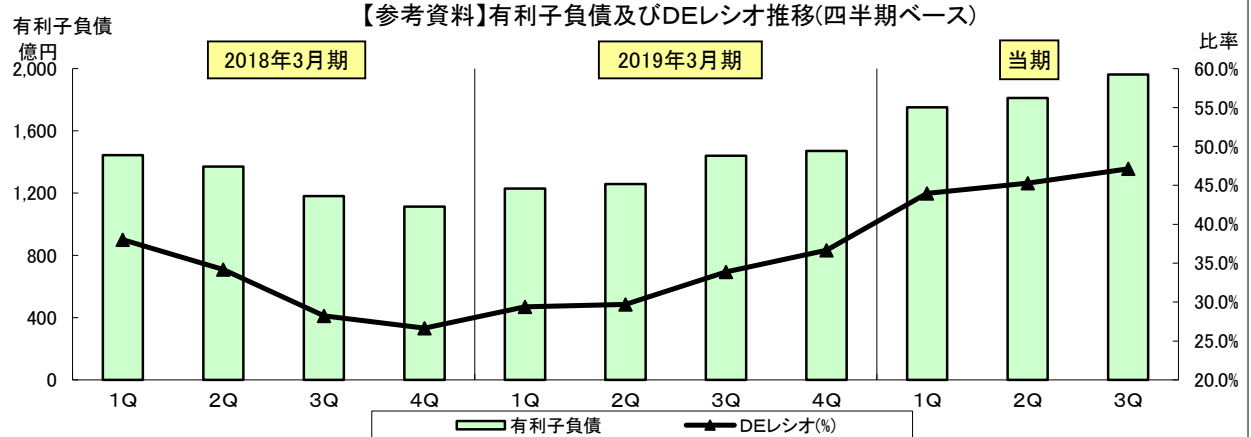
(単位：百万円)

	2018年3月期 第3四半期 (実績)	2019年3月期 第3四半期 (実績)	2020年3月期 第3四半期 (実績)	対前年同期 増減率	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (計画)
売上高	974,254	953,761	952,306	△ 0.2%	1,234,180	1,240,000
売上総利益	170,110	159,198	163,643	2.8%	200,603	
事業利益	46,085	35,494	39,239	10.6%	38,311	40,000
税引前四半期(当期)利益	52,761	34,684	33,400	△ 3.7%	30,267	26,000
親会社所有者帰属持分 四半期(当期)利益	36,221	24,046	23,927	△ 0.5%	19,561	18,500
売上高総利益率	17.5%	16.7%	17.2%		16.3%	
売上高事業利益率	4.7%	3.7%	4.1%		3.1%	3.2%
親会社所有者帰属持分当期 (四半期)利益率 (ROE)	9.1%	5.7%	5.9%		4.8%	4.6%



(単位：百万円)

	2018年3月期第3 四半期(実績)	2019年3月期第3 四半期(実績)	2020年3月期第3 四半期(実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (計画)
総資産	750,630	776,969	813,164	741,388	
親会社所有者帰属持分	418,095	425,452	416,379	401,014	
有利子負債	118,122	144,051	196,196	147,009	
D / E レシオ	0.28	0.34	0.47	0.37	
設備投資額	24,317	35,102	30,410	47,820	50,000
減価償却費	15,339	16,439	24,545	22,417	33,000



II セグメント情報

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	262,019	96.0%	260,860	95.8%	△ 1,159	△ 0.4%
セグメント間の内部売上高	11,027	4.0%	11,326	4.2%	299	2.7%
売上高合計	273,046	100.0%	272,186	100.0%	△ 860	△ 0.3%
セグメント利益	7,866	2.9%	10,559	3.9%	2,693	34.2%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	498,620	85.5%	506,952	85.2%	8,332	1.7%
セグメント間の内部売上高	84,642	14.5%	87,922	14.8%	3,280	3.9%
売上高合計	583,262	100.0%	594,874	100.0%	11,612	2.0%
セグメント利益	28,703	4.9%	25,168	4.2%	△ 3,535	△ 12.3%
関連企業本部						
外部顧客に対する売上高	119,097	97.9%	109,456	97.6%	△ 9,641	△ 8.1%
セグメント間の内部売上高	2,609	2.1%	2,679	2.4%	70	2.7%
売上高合計	121,706	100.0%	112,135	100.0%	△ 9,571	△ 7.9%
セグメント利益	1,068	0.9%	1,356	1.2%	288	27.0%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	99,536	50.4%	101,047	51.0%	1,511	1.5%
セグメント間の内部売上高	97,923	49.6%	96,928	49.0%	△ 995	△ 1.0%
売上高合計	197,459	100.0%	197,975	100.0%	516	0.3%
セグメント利益 (△損失)	△ 1,958	△ 1.0%	3,048	1.5%	5,006	—
消去調整他						
売上高	△ 221,712		△ 224,864		△ 3,152	
セグメント利益	△ 185		△ 892		△ 707	
連結						
売上高合計	953,761	100.0%	952,306	100.0%	△ 1,455	△ 0.2%
セグメント利益	35,494	3.7%	39,239	4.1%	3,745	10.6%

(注) セグメント利益 (△損失) は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2018年10月1日～2018年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2019年10月1日～2019年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	94,712	96.1%	95,289	96.2%	577	0.6%
セグメント間の内部売上高	3,871	3.9%	3,804	3.8%	△ 67	△ 1.7%
売上高合計	98,583	100.0%	99,093	100.0%	510	0.5%
セグメント利益	5,113	5.2%	5,993	6.0%	880	17.2%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	175,700	86.1%	176,845	85.3%	1,145	0.7%
セグメント間の内部売上高	28,427	13.9%	30,542	14.7%	2,115	7.4%
売上高合計	204,127	100.0%	207,387	100.0%	3,260	1.6%
セグメント利益	10,451	5.1%	10,478	5.1%	27	0.3%
関連企業本部						
外部顧客に対する売上高	44,957	98.3%	41,641	97.9%	△ 3,316	△ 7.4%
セグメント間の内部売上高	797	1.7%	873	2.1%	76	9.5%
売上高合計	45,754	100.0%	42,514	100.0%	△ 3,240	△ 7.1%
セグメント利益	875	1.9%	1,122	2.6%	247	28.2%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	32,487	49.4%	35,067	53.0%	2,580	7.9%
セグメント間の内部売上高	33,315	50.6%	31,140	47.0%	△ 2,175	△ 6.5%
売上高合計	65,802	100.0%	66,207	100.0%	405	0.6%
セグメント利益 (△損失)	△ 1,103	△ 1.7%	1,146	1.7%	2,249	—
消去調整他						
売上高	△ 78,505		△ 79,161		△ 656	
セグメント利益	△ 1,713		△ 1,332		381	
連結						
売上高合計	335,761	100.0%	336,040	100.0%	279	0.1%
セグメント利益	13,623	4.1%	17,407	5.2%	3,784	27.8%

(注) セグメント利益 (△損失) は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

【参考情報～海外事業本部の内訳】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	18,916	30.7%	20,037	34.1%	1,121	5.9%
セグメント間の内部売上高	42,625	69.3%	38,675	65.9%	△ 3,950	△ 9.3%
売上高合計	61,541	100.0%	58,712	100.0%	△ 2,829	△ 4.6%
セグメント利益	403	0.7%	966	1.6%	563	139.7%
米州						
外部顧客に対する売上高	17,184	28.4%	16,426	26.1%	△ 758	△ 4.4%
セグメント間の内部売上高	43,408	71.6%	46,608	73.9%	3,200	7.4%
売上高合計	60,592	100.0%	63,034	100.0%	2,442	4.0%
セグメント利益 (△損失)	△ 143	△ 0.2%	612	1.0%	755	—
豪州						
外部顧客に対する売上高	63,436	81.4%	64,583	82.3%	1,147	1.8%
セグメント間の内部売上高	14,468	18.6%	13,881	17.7%	△ 587	△ 4.1%
売上高合計	77,904	100.0%	78,464	100.0%	560	0.7%
セグメント利益 (△損失)	△ 1,347	△ 1.7%	2,254	2.9%	3,601	—

(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2018年10月1日～2018年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2019年10月1日～2019年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	6,560	30.8%	6,498	35.0%	△ 62	△ 0.9%
セグメント間の内部売上高	14,730	69.2%	12,068	65.0%	△ 2,662	△ 18.1%
売上高合計	21,290	100.0%	18,566	100.0%	△ 2,724	△ 12.8%
セグメント利益 (△損失)	199	0.9%	△ 27	△ 0.1%	△ 226	—
米州						
外部顧客に対する売上高	5,845	28.8%	5,700	26.9%	△ 145	△ 2.5%
セグメント間の内部売上高	14,433	71.2%	15,454	73.1%	1,021	7.1%
売上高合計	20,278	100.0%	21,154	100.0%	876	4.3%
セグメント利益 (△損失)	△ 105	△ 0.5%	167	0.8%	272	—
豪州						
外部顧客に対する売上高	20,083	79.6%	22,868	83.8%	2,785	13.9%
セグメント間の内部売上高	5,153	20.4%	4,408	16.2%	△ 745	△ 14.5%
売上高合計	25,236	100.0%	27,276	100.0%	2,040	8.1%
セグメント利益 (△損失)	△ 876	△ 3.5%	1,274	4.7%	2,150	—

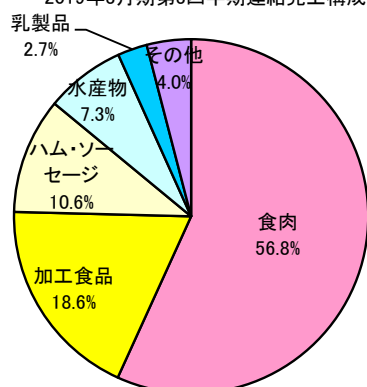
(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

Ⅲ 連結売上内訳

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期 (実績)		2020年3月期 第3四半期 (実績)		対前年同期 増減率	2019年3月期 (実績)		2020年3月期 (計画)	
		構成比		構成比			構成比		構成比
ハム・ソーセージ	100,908	10.6%	102,250	10.7%	1.3%	128,356	10.4%	130,500	10.5%
加工食品	177,391	18.6%	175,102	18.4%	△ 1.3%	233,655	18.9%	230,300	18.6%
食肉	541,742	56.8%	549,756	57.7%	1.5%	703,557	57.0%	718,700	58.0%
水産物	69,490	7.3%	64,338	6.8%	△ 7.4%	88,138	7.2%	81,700	6.6%
乳製品	25,705	2.7%	25,707	2.7%	0.0%	33,270	2.7%	33,600	2.7%
その他	38,525	4.0%	35,153	3.7%	△ 8.8%	47,204	3.8%	45,200	3.6%
合計	953,761	100.0%	952,306	100.0%	△ 0.2%	1,234,180	100.0%	1,240,000	100.0%

2019年3月期第3四半期連結売上構成比



2020年3月期第3四半期連結売上構成比

